

ならしの

題字：創立者額田晋先生 書

平成13年度号 No.21
平成13. 5. 30発行
千葉県習志野市泉町 2-1-37

東邦大学付属東邦
中学校・高等学校
同窓会

TEL 047-472-1160
FAX

Url <http://www.dosokai.org>
E-mail toho@dosokai.org

母校創立五十周年を迎える



中・高同窓会長
結川二郎
(7期卒 現千葉商科大学教授)

二〇〇一年の新世紀を迎え、会員の皆様には新たな飛躍に向けて益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
本同窓会は、特にこの数年間、「参加・合意・連携で革進を目指す」を活動理念として会務を運営して参りました。入学式、卒業式、その他の学校行事には同窓会として積極的に「参加」し、後輩や母校に対していろいろな形で支援、ご協力をさせていただいております。しかし、未だ十分な協力・支援活動とはいえず、同窓会としてはより充実したものにならうと理事役員会で議論しております。
母校と同窓会との「連携」を進める際には、幸いにして母校教員に同窓会員が多数居られ、理事役員にも就いていただいていることから、会務運営をスムーズに進めることができていると喜んでいます。また、同窓会の組織改革の際には、特に十二年度で退職された伊藤恒之前中高等学校長には献身的なご尽力を賜りましたことをこの紙面をお借りして心から感謝と御礼を申し上げます。そしてさらに十三年度から、新たに中高等学校長に就かれた秋山尚功先生におかれま

しては母校教育環境・内容のより充実・発展に揮ってくださることを会員一同心よりご期待申し上げます。
平成十四年には、高等学校創立五十周年、中学校創立四十周年という共に記念すべき節目を迎えます。母校はこれまで、学校法人東邦学園の創立者である額田豊・額田晋博士の思想と哲学を礎とする「自然・生命・人間」のキーワードが建学の精神として歴史と光輝ある伝統の中に受け継がれています。その思想は、「宇宙自然の無形の力を畏敬し、大自然からのその一部としていただいた生命を大切に、科学技術の進歩や物質文明の限界を自覚して、人間の心の成長と完成をめざして生きよう」と訴えたものです。
このような思想を詳細に語っている創立者による著書が『自然・生命・人間』のそれぞれ日本語版と英語版です。しかしこの建学の精神を象徴する貴重な資料も長い間多くの人々の眼に触れ、語り継がれてきたうちに残すところ数冊になっていくことを同窓会で知りました。そこで、同窓会では、創立五十周年記念を祝う事業として、関係機関との協力を得ながら『自然・生命・人間』の復刻本を発行し、東邦学園関係の可能な限り多くの方に愛読されるよう計画を進めています。
半世紀に及ぶ母校の足跡を語り合いながら集い合える創立記念日が目前となりました。尚、今年度の同窓会総会は、別掲ご案内のとおり千葉市幕張で開催いたします。会員におかれましては是非ともご家族ご同伴で多数ご参加くださるようお願い申し上げます。

自然生命人間の

東邦教育

伊藤恒之前校長 書

同窓会総会開催案内

日時 平成十三年六月十六日(土)
十五時～十六時

会場 ホテル「ザ・マンハッタン」

幕張新都心

議案 ・平成十二年度事業報告
・十二年度会計報告

・十三年度事業計画案
・十三年度予算案

・その他

学校の近況報告

・東邦中学校・高等学校入学をとりまく現況

・大学進学状況に関して

・その他

※先生方からご説明をいただきます。ご家族同伴の出席可。

懇親会 総会終了後、懇親会を行います。

会費は、正会員五千円、学生会員千円とし、平成十三年三月卒業の新会員はご招待とさせていただきます。

また、正会員同伴のご家族からの会費徴収は致しません。

☆出欠の回答は、六月十一日(日)までにご返送ください。FAXでの回答も受け付けています。

TEL・FAX 047-472-1160

「遠く」より「近く」を

——ご挨拶に代えて——
学校長 秋山 尚 功



一、はじめに
風薫る季節となりました。皆様方にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

今年度当初の人事異動により、伊藤恒之前校長の後任として校長職を拝命いたしました。私はこれまで、県立高等学校や県教育委員会等に奉職し、主に本県の公立高等学校教育に係わって来ました。私学教育は初めての経験ですが、本校教育のために微力を傾注する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

二、入職式に臨んで
素晴らしい法人の理念——去る四月一日、東京大森の学校法人東邦大が、本校で行われた入職式で野口理事長のご高説を拝聴しました。建学の精神「自然・生命・人間」の尊重、高い倫理観による「奉仕精神」に基づく服務の心得等についてです。要旨は、掛け替えない自然から与えられた尊い生命に關与する医師や看護師等に限らず、同じ法人に帰属する全ての者が顧客を大切に、奉仕に徹することこそ、働く者の自己実現に他ならない、ということでした。

私も共感を覚え、最初の職員会議でこのことを教職員に伝え理解を新たにいたしました。本校も東邦大学に帰属する一教育機関です。本校を選んでくれる生徒のために誠意を持って尽くす教育を基本精神として学校経営に努めたいと考えております。

三、現状と課題

(一) 現状
今春卒業生の進路概況は、東大を始め国立大医学部、薬学部や、早・慶大等の超難関大学へも多数合格するなど、ほぼ

例年並みの実績を残しています。また今年度の生徒数は、中学校が六学級、二百七十五名、高校が九学級三百九十五名です。特に中学校は前年度に比べて一学級増となりました。県下有数の進学実績を誇る学校として社会的に高い評価を得ていることの反映でもあります。これも偏に同窓会を始め、地域社会の皆様方のお力添えと、先輩教職員の方々の賜と心から感謝しております。部活動も盛んで、昨年度は特にハンドボール部、ラグビー部の健闘、サッカー部の韓国親善遠征など、なかなかの活躍との報告を受けています。

寮生活の概況は、新入寮生は中学生が一名、高校一年生が一名で、四月十日現在の入寮生は全部で三十一名です(男二十三名、女八名)。舎監の方々の指導の下で、お互いが自覚し協調しながら、時間を有効に活用して、勉学にスポーツに励んでいます。

(二) 課題
近年のわが国では少子化が進んでおり、この傾向は今後も当分続くものと予想されています。このような中で、各学校は公立私立を問わず「生き残り」を図るべく特色づくりに力を削いでいる状況です。また平成十四年度からは、新学習指導要領や公立学校での学校完全週五日制が実施される予定です。一方、大学教育についても、学生の「学力低下」問題への対応や入学者選抜方法の改善、国際社会に通用する研究者等の有為な人材の育成等、大学教育制度の根幹に係わる大きな課題を抱えています。

このような状況を踏まえてわが国の将来に思いを致すとき、本校としても豊かな可能性を秘めた優秀な生徒を世に送り出す役割を敢えて自覚すべきではないでしょうか。そのた

めにも、中学・高校とも優秀な生徒に選ばれ、魅力ある学校づくりを全職員で検討する必要があると存じます。「遠く」(将来・他校や周囲の状況)を見据え、「近く」(現在・本校の実態)を勘案しながら、柔軟に賢明な選択をして行きたいと考えています。

時恰も来年は高校創立五十周年(中学創立四十周年)を迎えます。これを本校の更なる発展の一契機にできれば幸いであると思っております。

四、おわりに
以上若干の所見を述べました。何れにしても、同窓会や習志会の皆様方のお力添えが頼りです。よろしくご理解とご協力をお願いいたします。ご挨拶と致します。

ごあいさつ

前学校長 伊藤 恒 之



会計年度で動く学校は三月までは二十世紀ということになります。が、この世紀を節目に私は退職することに致しました。

平成七年四月より、高校の教頭として本校にお世話になりました。第十代校長を拝命することになりました。生徒にとっては学び甲斐のある学校、保護者にとっては通わせ甲斐のある学校、地域住民の方には応援のし甲斐のある学校を目指して取り組んで参りました。

文武両道を標榜とする進学校として昨年は二年連続東大理Ⅲの合格者が出たり、ハンドボールでは中学女子と高校男子が全国大会に出場したりしました。また中学のオーケスト

同窓会のこの一年

同窓会副会長 小沢重博(十六期生)

同窓会の活動を振り返りご報告致します。従来、九月十五日恒例で行われていた同窓会総会及び、懇親会を六月二十四日に変更し行ったこと以外、学校行事への参加、理事会開催など例年と変わらずに活動いたしました。その中で特に印象に残ったのは卒業式で同窓会役員である松井君からの卒業生に向けて語られたメッセージでした。

現在、東邦高校といえは首都圏下を代表する進学校となり、そこに学ぶ生徒はエリート集団と言われるようになった。我々同窓生としては嬉しく誇りに思っている述べ、彼は自分達の青春時代・高校当時を振り返り、東邦大学敷地に間借りのような馬小屋改造校舎での個性溢れる仲間の話、現在も教職に就いておられる泉教頭をはじめとするベテラン教師の個性的で情熱的に生徒達と親身になつてぶつかり合っていた若き時代を金子みすず氏の詩を引用し「皆違って、みんないい」まさにそんな時代であったと語った。

開校五十周年を迎えようとしている東邦。校舎も立派になり、施設も充実、集まる生徒達も皆優秀と素晴らしい学校になったと思えますが、進学校と名を馳せたことは地道に続けられた努力に対する結果となり評価されていることであり、エリート集団と言うのは単に周囲の評判であると思います。周囲の評価が高く評判が良いことは良いことです。建学の精神「自然・生命・人間」によれば「大いなる自然のなかで生命を得、大自然の

なかに人間として生かされている」と私は解釈している。実に雄大で謙虚な精神であろうか。

ともすれば現在の社会は大自然に対する謙虚さを忘れ尊大といえる。東邦において、教師が、学校全体が、自ら進学指導のみを強調したり、エリート教育を目指すことなど建学の精神「自然・生命・人間」に反するのではないだろうか。個性を尊重し「皆違って、みんないい」。

学校として高い評価を維持して行くことは大変なことと思えますが、今一度、建学の精神「自然・生命・人間」を皆で再考してみませんか。



同窓会総会 東邦高校多目的ホール



同窓会懇親会 東邦大学食堂ホール

ラ部、高校の吹奏楽部も高い技術を誇っております。生徒との心のつながりを求めて、卒業時や入学時に名前の一字を含んだ四字句・六字句を書き贈ってきた色紙は、今数えてみると三千八百枚に達しました。彼らの心に伝わるものがあるならば、喜びこれに過ぎるものはありません。

この六年間、同窓会の会長さんをはじめ役員や会員の皆様には、母校の教育方針にご理解・ご協力を賜り誠に有り難うございました。二十一世紀の東邦中高が、「自然・生命・人間」の建学精神のもと、秋山校長を中心にご職員が気持ちも新たに東邦教育に当たるものと思えますので、引き続きご支援ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。最後に同窓会および会員の皆様の益々のご発展を祈念してご挨拶と致します。(平成十三年四月)

同窓生は今

皆様お久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか。私は現在二人の子の母親となり子育て奮闘中です。振り返りますと、私にとりましては、中学高校の六年間は友人関係を築くのに最良の場所であったと改めて感じております。親しくなりました友人たちとは本当に良き相談相手となり、今ではすっかりママさん友達となり、親を悩ませてきた私たちも悩まされる毎日です。今は自分の時間を持つことはなかなか難しいですが、これから時間ができましたら大学時代に取得した薬剤師の仕事で医療に携われたらいいなと思っております。三十歳というひとつの節目を迎え、皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

三十五期生 島田恭子(旧姓喜多村)

私は、現在、司法修習生として実務修習をしております。昨年の7月からの検察修習、弁護士修習を経て、今は水戸地方裁判所にて修習中です。被疑者の取調べ、実況見分、依頼者の法律相談、実際の事件に関する友人との議論等々、今まで机上の勉強しかしてこなかった私にとっては、日々の出来事のどれもがとても新鮮で、とても楽しく、と同時に、現実の当事者がいる事柄を扱うが故にいつも緊張感があり、毎日が本当に充実しています。(ちなみに、水戸地方検察庁では、奇しくも、東邦高校の先輩である検事から指導していただきました。)半年後には、東京で弁護士として活動を始める予定です。修習中に得た知識と経験をもとに、責任をもって仕事に取り

くんでいきたいと思っています。

三十八期生 田原 緑

東邦高校を卒業してはや一年。現在は東京農工大学農学部生物生産学科二年として、片道二時間半という距離にも負けることなく何とか通っています。僕の学科は農学部の中でも特に実際の現場に近い学科なので、実習・実験などが多いという特徴があります。最近では、土壌断面の調査・枝豆の播種などを行いました。二年になってよりハードになり、やはり農業は体力勝負なのだ、と痛感させられます。サークルは「農業生物学研究会」という、名前からは何をやっているのか想像し難いものに所属しています。最近では、サークルでベトナムの姉妹校を訪問してきました。五日間ほどでしたが、大学の寮に滞在していたので、普通の観光旅行では出来ないような体験をすることが出来、非常に意義深いものであったと思います。まだこれからの進路すら決めることの出来ない状態ですが、時間のあるうちに出来る限り多くのことを経験し、そして自分の道を模索していきたいと思っています。

四十六期 金子 陽一

平成十三年三月三日鮎川会長の代理で卒業式に出席祝辞を述べさせて頂きました。三十年振りの卒業式……。我々の卒業式とは一味も二味も違い、これも時の流れでしょうか？雰囲気もとても楽しそうで、クラス単位の個性が、充分に感じられました。東邦の中で育まれた自然、生命、人間、を卒業生の皆様を守って行くのだ。そんな気概と夢を持って自己実現の旅路に、踏み出して下さると思います。

十八期生 松井 哲也

学校の近況

一、平成十三年三月ご退職の先生

大森貞夫先生(保健体育)

昭和四十三年東邦中学着任以来三十年余、定年を五年残して惜しまれつつご退職になりました。

先生は生徒指導部長、学年主任などの要職を長きにわたって務められ、学校の屋台骨を背負ってこられたわけですが、先生の真骨頂は何といっても教科指導、部活(硬式テニス)指導にありました。常に全力投入……。全身全霊をこめた厳しくも温かいご指導は、多くの卒業生の心の中に生き続け、人生の支えとなっているに違いありません。

山本栄一先生(国語)

先生は県立千葉高校、県立船橋高校など県内を代表する進学校を歴任。公立高校を定年退職された平成三年、東邦高校に着任されました。豊かな経験と高い見識に基づき先生の授業は、向学心豊かな生徒、とりわけ女子生徒には魅力的だったようです。毎年、バレンタインデイの日の先生のお机の上には、チョコレートが山と積まれていたとか……。

クラシック音楽、木工芸術など多彩な趣味をお持ちの先生のことですから、定年退職後も充実した毎日をお過ごしのことと思います。

二、部活動の活躍

- 中学校ハンドボール部
 - 県総体 女子準優勝
 - 関東大会 女子準優勝
 - 全国大会 女子ベスト8
- 高校ハンドボール部
 - 県新人戦大会 男子優勝
 - 関東選抜大会 男子出場
 - 全国選抜大会 男子出場
- 中学校水泳部
 - 県新人戦大会
 - 男子200mメドレーリレー3位
 - 男子200mフリーリレー3位
 - 男子総合5位
 - 女子200mメドレーリレー6位
 - 女子200mフリーリレー7位
 - 関東大会
 - 男子個人200m平泳ぎ出場
 - 男子400mメドレーリレー出場
- 高校水泳部
 - 県高校総体
 - 男子400m自由形6位
 - 関東大会
 - 男子400m自由形出場
 - 高校選手権
 - 男子400mメドレーリレー8位
 - 県新人大会
 - 女子200mバタフライ8位
 - 男子200m自由形6位
 - 男子400m自由形4位
- 高校テニス部
 - 県総体団体戦ベスト16
 - 県新人戦団体戦ベスト8
 - 県一年生大会団体戦優勝

中学校卓球部

市総体 男子団体準優勝

男子シングルス優勝

県総体 男子シングルス出場

中学校剣道部

市総体男子団体戦優勝

女子団体戦準優勝

男子個人戦優勝

女子個人戦優勝

市新人戦男子団体戦優勝

女子団体戦準優勝

男子個人戦優勝

高校サッカー部

県総体ベスト16

県私学ベスト16

高校ラグビー部

全国総体千葉県予選

決勝トーナメント進出

関東高校ラグビー大会千葉県予選ベスト8

三、平成十三年度 主な学校行事の日程

体育祭(中学) 五月二十七日(日) 九時

(高校) 六月 七日(木) 九時

一般公開する

文化祭「銀杏祭」(中高合同)

九月二十九日(土)・九月三十日(日)

一般公開は土曜の午後(十二時三十分)

から

入学学力検査

中学校 一月下旬

高校 二月下旬

*入学学力検査の日程は後日確定します。

四、在籍数(平成十三年五月現在)

《中 学》

	第1学年	第2学年	第3学年	計
男子	156名	145名	148名	449名
女子	119名	126名	123名	368名
合計	275名	271名	271名	817名
学級数	6	6	6	27

《高 校》

	第1学年	第2学年	第3学年	計
男子	230名	181名	215名	626名
女子	165名	183名	145名	493名
合計	395名	364名	360名	1,119名
学級数	9	8	9	26

原稿募集

同窓会では、次回会報に掲載する「同窓生は今」の原稿を募集しております。

同窓生のみなさまの近況を左記の要領で、お知らせ下さい。

・字 数：二〇〇字程度

・送付先：習志野市泉町二・一・三七

東邦大学付属東邦中高同窓会

「ならしの」原稿 係

FAX 〇四七(四七二)一一六〇

発行予定：平成十四年五月頃

平成十三年 度 人 試 結 果

進路指導部長 松本 琢司

長引く不況を背景に年々国立大学志向や実学志向・資格取得志向が全国的に強まってきました。そのような中で、今年も本校でも、従来から志望者の多い国立大学医学部を目指す者がさらに増え、そのほかに医療・福祉系の進学者の増加も目立ちました。この医療・福祉系の志望者増加傾向は、高齢化社会の到来を受けて、全国的にも見られ、「癒し系」の増加などと一般的に言われるように

なっています。その傾向が本校でも今年も顕著に現れました。また、手に職をつけるべく専門学校に進学者も出てきています。近年は、高校卒業後十年以上経過した卒業生の中にも、大学や専門学校に再入学するため、調査書などの書類を取りに母校を訪ねる方も増えてきています。

次に、今年度の大学入試結果を国立大学・私立大学別に見てみましょう。まず、国立大学ですが、合格者の合計数は大学と大学校を合わせると、一三二名と昨年を大きく上回りました。これで昭和六十三年に百人を越えて以来ずっと三桁を維持してきていることになりました。この数は、今までで六番目に多いものです。東京大学に関しては合計数は七名と昨年・一昨年の八名とほぼ同数でしたが、文科系の合格者が三名と、例年に比べ

文科系の割合が多くなっています。また、国立大学医学部も、現浪合わせて二十名で昨年の二十二名とほぼ同数でした。

私立大学の方では、資格志向が高まる中で志願者の増加している薬学部は、昨年と同数の現浪合わせて六十五名の合格者を出しました。いわゆる早慶上智理科大については、どの大学も昨年の合格者数に比べて今年はかなり減りました。これは、不況を反映して本校でも現役生・浪人生とも従来より併願校をしぼったことと、特に現役生の国立大学医学部志向が強くなり、進学者希望の大学以外は受験しない傾向が強まったことによるものです。

大学名	合計	学部名	現役	既卒
明治		法	5	3
		政治経済		2
		経営	2	2
		商		1
		理工	3	6
明治学院	7	農	2	3
		文	4	
明治薬科	6	経済	1	
		社会	2	
明星	2	業	3	3
		理工	1	1
立教	23	文	3	1
		法	4	2
		経済	4	3
		社会	3	
		観光	1	
		コミュニケーション	1	
		理	1	
早稲田	53	第一文	4	3
		第二文	2	1
		法	3	3
		政治経済	1	1
		商	3	2
		社会科学	1	2
		教育	2	6
人間科学		1		
麻布	3	理工	6	12
		獣医畜産	2	1
		理	1	
神奈川	1	音	1	
		楽		1
昭和音楽	1	歯	1	
		術		2
東京工芸	2	芸	1	
		国際社会	1	
東洋英和女学院	2	人間科学	1	
		文	1	
フェリス女学院	1	業		1
		陸		1
北陸	1	現代社会	1	
		文	2	
京都女子	1	法	1	1
		経済	1	
同志社	5	経済	1	1
		国際関係	1	
立命館	11	国際関係	1	
		理工	3	6
関西	2	文	1	
		法	1	
関西学院	2	文	1	
		商		1
私立合計	648		328	320

現役生(二二五一名)の進学率は、五十四%でした。現在の高校三年生も、例年に劣らず勉学に励んでいますので、よりよい成果を上げてくれるものと期待しています。

国立大学合格者数 (現浪計)

入試年度	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
合格者数	58	56	97	120	137	123	103	149	139	120	141	127	136	114	103	111	132

平成13年度入試 大学等合格者数

【国公立大学】

Table of national/public university admissions. Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 旭川医科, 帯広畜産, 北海道, etc.

Table of national/public university admissions (continued). Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 三 重, 京 都, 大 阪, etc.

【文部省管轄外の大学校等】

Table of non-Ministry of Education supervised universities. Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 航空保安, 防 衛, 水 産, etc.

【私立大学】

Table of private university admissions. Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 北海道医療, 東北文化学園, 自治医科, etc.

Table of private university admissions (continued). Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 大妻女子, 学習院, 学習院女子, etc.

Table of private university admissions (continued). Columns: University Name, Total, Faculty Name, Current, Past. Includes entries like 中 央, 津 田 塾, 帝 京, etc.

新入会員を迎えて

同窓会は、この三月、三五一名の新しい仲間を迎えました。
 新会員の希望に燃えたメッセージを紹介します。

二十一世紀の医療の展望

二月十九日に自治医科大学に合格し、ついに卒業式は明日にせまった。現在は卒業旅行の幹事として骨を折っている。東邦での三年間を振り返ると、様々なことが思い出される。思い出話をする気はない。しかし、現在は過去のもとにあるのだという当然のことが、非常に大きなものに思われる。
 人生とは簡単に言ってしまうと、らせん階

同窓会事務局より

事務局担当理事 御喜 和
 (18期生母校教諭)

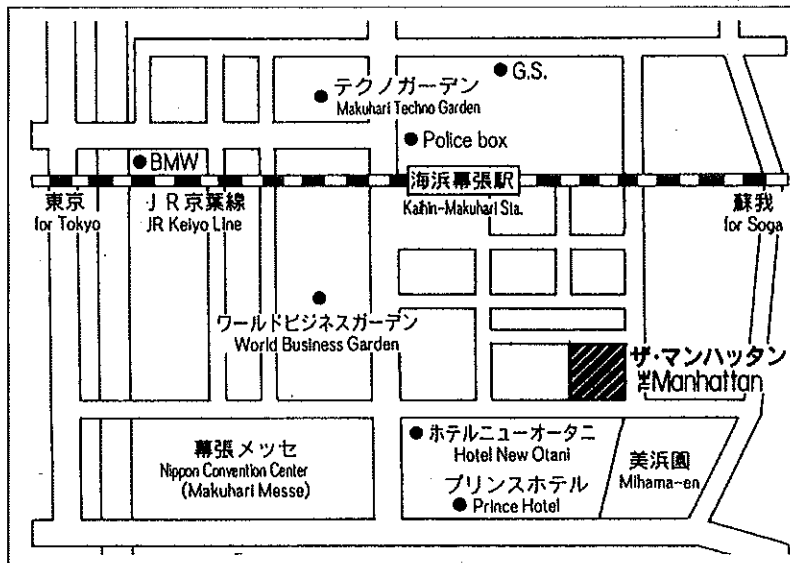
- (1) パート事務員の方の同窓会事務室での執務時間
 - 月曜日 9:30~14:30
 - 土曜日 9:30~14:30
 同窓会へのお問い合わせは、なるべくこの時間帯にお願いします。
 直通電話 047-472-1160
 ※FAXの番号は電話番号と同じです。
- (2) 緊急の連絡に関して
 - 上記の執務時間以外は、同窓会室への電話連絡はできません。
 - 緊急のお問い合わせは学校代表 047-472-8191
 - にお電話いただき、「同窓会関係教員」を呼び出してください。
- (3) ホームページ等に関して
 - Url <http://www.dosokai.org>
 - E-mail toho@dosokai.org

段のようなものである。同じようなところをぐるぐる回りながら、それでも着実に上へ進んでいく。そして、それぞれの人生の階段がある。ここからは医学部受験生諸君に読んでほしい。医師の倫理感私だっただけから知っていたわけではない。しかし今ではその倫理が、自分の性格の大部分を占めるようになってしまった。これは日々の小さな積み重ねの結果である。昔は漠然としたあこがれでしかなかった。しかし今では具体的な理想像を持っている。すなわち、倫理感というものは養うことが可能だ、ということだ。
 医師を目指す人として知っている人を知ってほしいことがある。まずこれから先、日本は訴訟社会に確実になるということである。日本の司法界はすでに司法試験の合格者を増すことを決めている。つまり弁護士が増えるのだ。そして彼らは最も金になる医療訴訟を狙ってくる。これから医師になる者の九割は、一生に最低一回は訴えられると言われている。事実アメリカでは現在すでにそうなっている。
 だから私は将来医学部の偏差値は、薬学より下になると予想している。とにかくこれからの時代医師にとって、今までと違った意味で厳しい時代が来ることは確かである。昔は治療に大変だったのが、これからは医師同士の生存競争や患者からの訴訟に苦勞することになるかもしれない。それでも私は地域医療という理想を目指して身を粉にして努力してゆきたい。

らせん階段の頂点には何があるか、私にはまだわからない。

福田 雅弘 (四十七期)

会場案内図



編集後記

今回の会報作成は、パート事務員の山下さんの尽力によるところが大きかったです。ここに記して謝意を表したいと思います。

(会報ならしの編集委員会)